

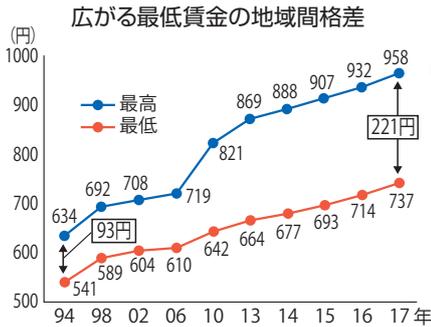
地域 みんなの力でつくり 格差と貧困のない社会

2018年
国民春闘

元気に
のびのびと
働きたい

日本では、貧富の差、大企業と中小企業、男女間の格差、正規と非正規の格差、都市と地方の地域間格差など、さまざまな格差が“当たり前”とされ、貧困が拡大しています。

格差を縮小し、貧困の解消をみんなの力でするために、一人ひとりが声を上げましょう。



年収で
40万円もの
格差

人口流出
購買力の
低下

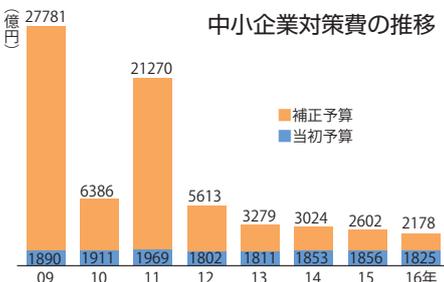
私たちは、18春闘で、「8時間働けば、人間らしい暮らしができる社会」の実現を求めています。

賃金の大幅引き上げ・底上げで、暮らしと雇用を安定させましょう。長時間労働の解消で、過労死をなくし、安心して働き続けられる社会を一緒にめざしましょう。

大幅賃上げ
最賃引き上げ
中小企業支援

地域活性化

中小企業で働く人 → 7割
中小企業にこそ税金をまわせ

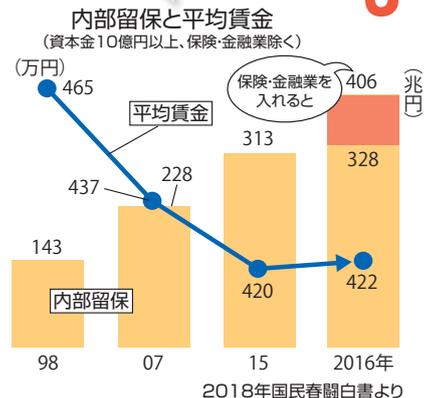


大企業優遇よりも
中小企業支援を

全企業の99.7%を占め、労働者の7割が働く中小企業。利益を上げられず法人税を納められない企業は約7割です。「法人税減税」は、利益を上げている企業だけの恩恵にすぎません。

地域経済を支える“主役”である中小企業を元気にするには、賃金の大幅底上げで、国民の消費購買力を高め、“物が売れる地域づくり”が必要です。さらに、人件費などが適正に価格に反映できる公正取引の確立、社会保険料の減免などの制度の創設が求められます。

内部留保をためこんで賃金に回らない!



えっ？
過労死促進、
格差容認
労働法で救われない
労働者を増加

安倍「働き方改悪」 法案を止めよう！



政府の「働き方改革一括法案」の正体は「働かせ方の大改悪」です！多くの人に知らせ、反対の声を政府と国会に届けましょう。

1 長時間労働にお墨付き。 残業代ゼロ働かせ放題。 そして、過労死促進！ (労働基準法案)

不払い残業の温床「裁量労働制」を営業や管理的業務に拡大。連日24時間働かせ放題の「高度プロフェッショナル制度」も創設します。

一方、過労死ラインの残業「月100時間未満」「年960時間」を法で容認。それを超える残業も珍しい運転・建設業務、医師は適用を猶予。研究開発業務は上限規制なしです。

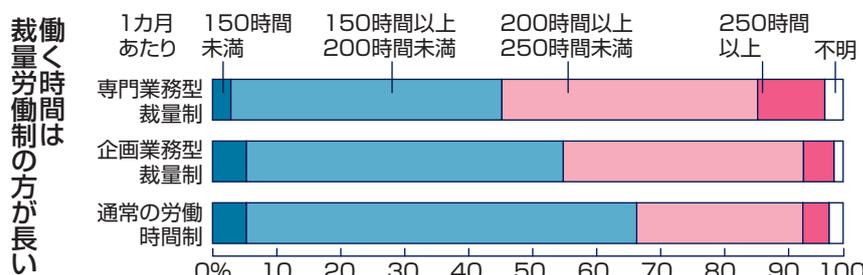
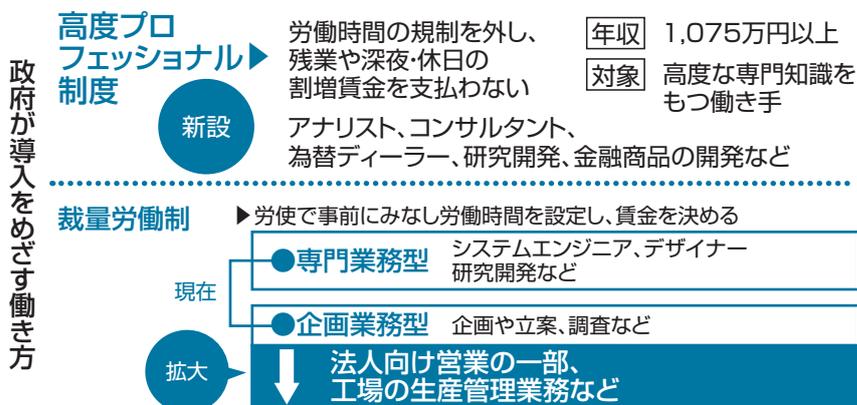
3 労働法が適用されない 「雇用されない働き方」普及！ (雇用対策法案)

最低賃金以下、残業代・休日・休息・有休ゼロも問題なし。簡単に契約は切れ、仕事を辞めると損害賠償を請求され、失業給付も労災給付もつけられない「雇用されない働き方」。これを国が普及すると法に明記します。究極の労働法破壊です。

2 同一労働・差別賃金容認！ (パート・有期法・派遣法案)

正社員と同じ仕事をしている非正規労働者について、転勤や職務の変化の可能性の違いを理由に、正社員との賃金格差を容認。本来の「同一労働同一賃金」とは全く別モノです。

心身を破壊する高プロ・裁量労働制



労働政策研究・研修機構調べ。2013年、回答約7,000人
資料：「朝日」2017年6月18日

わたしたち働くものの命と暮らしに深刻な悪影響をおよぼす悪法を、許すわけにはいきません！

署名にご協力ください

8時間労働制で
普通に暮らせる社会を実現しよう。

